



平成 29 年度

旭市立萬歳小学校 グランドデザイン

～ 笑顔で学校へ 笑顔で家庭へ ～



千葉県学校教育の指針

- 人生を開く「確かな学力」を育む
- 思いやりのある「豊かな心」を育む
- 活力にあふれる「健やかな体」を育む
- 「地域とともに歩む学校づくり」を進める



具体指針

学校教育目標

おおきく かしこく たくましく 自分らしさが輝く 萬歳っ子の育成

めざす児童像

- おおきく； 明るく仲良く、大きな心で生活する子 (徳)
- かしこく； 進んで取組み、よく考える子 (知)
- たくましく； 元気に体を鍛える子 (体)
- 自分らしさが輝く； かけがえのない個性を互いに認め合いながら向上する  
～ みんなちがって みんないい ～

旭市学校教育指導の指針

- 『人と地域が輝く教育を目指す』
- 『確かな学力』を育む
- 『思いやりのある豊かな心』を育む
- 『健やかな体』を育む
- 『望ましい勤労観・職業観』を育む。
- 『グローバル化に対応した教育』を進める
- 『地域とともに歩む学校づくり』を進める。
- 『安全・安心な学校づくり』を進める
- 『一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育』を進める

見つけよう 考えよう 行動しよう

～ 進んで つなげて 工夫して ～

取組の重点

自分らしさが輝く 萬歳っ子の育成

サービス事故0  
不登校0  
いじめの早期発見・早期解決

こころそだて

実効性ある道徳教育の推進  
～なすことよって学ぶ・対話で磨く  
勤労生産的活動の充実～  
「勤勉・正直・感謝」の励行と実践

まなびそだて

基本的な学習習慣の確立  
基礎的・基本的な学習内容・学習技能の習得  
思考力と表現力を育てる授業の実践  
言語活動と体験活動の効果的な関連づけ  
～いっぱい読む しっかり聞く いっぱい話す たくさん書く～

からだづくり

個が生きる体育的活動の充実  
外遊びの励行  
日常生活につながる健康教育の推進  
実践的態度に結ぶ「食育」の充実

なかまづくり (学級経営・集団育成)

自己肯定感を高揚させる温かな人間関係づくり  
多様な集団活動・交流活動の工夫  
縦割り活動の日常的実践

地域に開かれた学校

- 情報の積極的発信  
学校・学年たより, HP
- 地域素材を活かした学習活動の充実
- 小保, 小小, 小中連携の推進
- 地域人材の活用, 地域と一体となった行事の推進

めざす学校像 カリキュラム・マネジメント, 組織マネジメントの推進

- わかる授業を実践する学校
- 安全・安心で活力と潤いのある学校
- 保護者・地域に信頼され, ふるさとを愛する子どもを育てる学校
- 教職員にとって働きがいのある学校

働きがいのある学校

- 校内研究・研修の充実とライフステージに応じた力量形成
- 協力・協働と「報告・連絡・相談」
- 互いの顔が見える校務運営とコミュニケーション
- 公務員としての厳正なサービスの遂行と校内モラルアップ委員会の充実

安全・安心の学校

- 日常点検と校内環境の整備
- 通学路の安全点検と交通指導の充実
- 保護者・地域との連携
- 感染症等への迅速かつ適切な対応
- 実践的な防災計画の策定と防災訓練・防災教育の推進
- 安全意識の高揚・危機回避能力の育成を図る安全指導・安全教育
- 教師の危機管理意識の醸成と危機管理能力の育成

めざす教師像

- 心身ともに健康で人間性の豊かな教師：時を守り, 場を清め, 礼を正す
- 学習指導の専門性を身に付け, 向上心のある教師：学び続ける教師であれ！
- 高い倫理観と危機管理意識を持って教育実践に努める教師：課題解決は「チーム萬歳」で

## II 具体的な取組

### 1 「おおきく」育てる（徳）：「明るく仲良く、大きな心で生活する子」を育てるために

#### (1) あいさつと相手を尊重した言葉遣いの励行と生徒指導の機能を活かした授業の展開に努める

- ①学級生活・学習活動での意識付け・意欲付け・評価
- ②教師が言語環境への意識・感性を高め、率先してよきモデルとなる。

#### (2) 道徳教育の充実・「道徳授業」の工夫・充実

- ①教科化を視野に入れた「道徳授業」の工夫・改善に努める。  
具体的には体験活動と関連づけたり、話し合い活動・対話活動を取り入れたりし、「読み物」資料を活用した気持ち発問からの脱却を図る。
- ②学校生活・校外活動での指導場面等、を捉えた実践的な指導と「道徳の時間」における「補充・深化・統合」の機能を効果的に関連づける。

#### (3) 生徒指導の機能を活かした授業づくりと体験活動・縦割り活動の充実を図る。

- ①「自己決定の場を与える」授業、「自己存在感を与える授業」、「共感的人間関係を育む授業」の実践に努める。
- ②共通実践事項「勤勉・正直・感謝」の励行と実践・評価を通して児童の自己実現に結ぶようにする。  
この3つは児童のキャリアの発達を促す上で汎用的能力の土台を形成する上で重要な徳目でもある。  
勤勉：うまずたゆまず。小さな積み重ねを大切にする。  
正直：できることは約束する。できないことは約束しない。できなくなりそうな時は約束をし直す。  
感謝：成功は他人のおかげ。失敗は自分の責任。  
自己実現：自分の得意なこと・好きなことで人の役に立ち、人から認められ褒められること。（竹内 均氏の提言を参考にした）
- ③「やる気」と「自信」を育てる。  
体験活動においては「生きる力」に直結する「やる気」と「自信」を育てることに特に重点を置きたい。新しい場面・積極的にコミュニケーションを図らなければならない場面で自信を持って行動することがあまり得意でないことが本校児童の特性としてある。多様な場面を設定し、体験活動を工夫しながら個に応じた成長を促すようにしたい。また地域の特性を活かした勤労生産学習を通して有能感を育てる。

### 2 「かしこく」育てる（知）：「進んで取組み、よく考える子」を育てるために

#### (1) 「わかる」喜び、「できる」楽しさを味わえる学習活動を展開する

- ①基本的学習習慣の確立  
準備、姿勢、発言、ノート、家庭学習の励行等は全校での共通事項として指導する。
- ②基礎的・基本的な内容の定着と思考力・表現力の育成。  
育てたい力を明確にし、実態に応じた指導方法・学習形態を工夫する。本年度は特に児童の「問い」の生成の過程を大切にしたい。習得と活用の往還を通して思考力・表現力の育成を図り、基礎的・基本的内容を確実に習得できるようにする。小規模校のよさを生かした個別指導・個別評価の充実を通して指導と評価の一体化を図る。

#### (2) 言語活動と体験活動の効果的な関連づけ

- ①学習基盤としての言語能力の伸張を促すために言語活動の充実を図る。そのために「いっぱい読む しっかり聞く いっぱい話す たくさん書く」ことを推進する。それらの活動を通してよりよく伝え合う、コミュニケーション能力の伸張につなげる。  
読書活動の充実を図るために「読書賞」・「名文暗誦の鬼」を実施する。
- ②体験活動と表現活動の往還を通して学習意欲・表現力の向上を図る。  
国語科を核に各教科の学習体験を内容とする表現活動を工夫し、文表現力の向上を図る。特に研究教科である「理科・生活科」を通して「記録・報告・説明」等の基本となる言語活動の工夫・改善を図る。

#### (3) 個別の指導計画、個別の教育支援計画に基づいた「特別支援教育」の推進

- ①授業の「ユニバーサル・デザイン化」の視点を取り入れた授業づくりを推進する。
- ②関係機関と連携を図った「基礎的環境づくり、個に応じた適切な「合理的配慮」に基づく特別支援教育の充実を推進する。
- ③お互いの顔が見える小規模校のよさを活かした指導体制の確立・指導方針の共通理解を図る。

#### (4) 家庭との連携を図った学力向上対策の推進

- ①「家庭学習の手引き」をもとに「自学ノート」を活用した家庭学習の習慣化・充実を図る。  
目安：学習時間 学年×10分+10分 ノートのページ数 低学年1ページ・中学年2~4ページ・高学年3~6ページを目指す。

### 3 「たくましく」育てる（体）：「元気に体を鍛える子」を育てるために

#### (1) 個が生きる体育的活動の充実

- ①教育活動全体を通じた体育的活動の充実・推進を図る。  
教科体育の充実を図るとともに体育的行事の工夫を通して全校の取組・学年の取組を連動させながら楽しく体力向上できるようにする。「休み時間」を確保し、外遊びを励行する。
- ②課題に基づく共通取組事項の設定・実践（体力向上委員会のプロジェクトによる）

#### (2) 日常の生活実践につなぐ健康教育の推進と「食育」の充実

- ①自己の生活習慣を見つめ、よりよい基本的な生活習慣を身に付けられるようにする。  
「早寝・早起き・朝ご飯」の励行。
- ②学校保健・学校安全・食育推進等の研修の充実を推進する。（H28・29食育指導推進拠点校）
- ③勤労生産活動と関連づけた食育の充実を図る。「理科・生活科」「特別活動・総合的な学習の時間」と関連づけ、児童の関心・意欲が高まるような栽培活動を工夫する。ランチルームでの全校給食を活用した給食時間の工夫・充実を一層推進する。